



めざす学校像

- ・郷土を誇りに学びの真道^{まみち}を求める学校
 - ・一人ひとりが毎日楽しく過ごせる学校
- 「学びの真道」＝「生きる力」

- ・関係法令
- ・小学校学習指導要領
- ・南アルプス市立小中学校管理運営に関する規則
- ・山梨県学校教育指導重点
- ・南アルプス市教育大綱



落合小学校の教育目標

よく学び 心豊かで たくましい児童の育成

【 かしこく やさしく たくましく 】

- よく考え 進んで学ぶ子ども (かしこく)
- 思いやりの心もち 助け合う子ども (やさしく)
- 心身を鍛え 最後までやりぬく子ども (たくましく)

- ・南アルプス市の環境
- ・落合地区の環境
- ・子どもの状況
- ・子どもの願い
- ・保護者の願い
- ・学校関係者の願い
- ・地区の皆様の願い



めざす子ども像

よく学び 心豊かで たくましい落合小児童

- よく考え進んで学ぶ子ども (かしこく)
 - 進んで取り組む子
 - ・主体的で意欲的に学ぶ子ども
 - ・進んで対話する子ども
 - ・自分の考えをきちんと発表できる子ども
 - 話を聴ける子
 - ・話をきちんと最後まで聴ける子ども
 - ・学習のルールを守る子ども
 - ・けじめがつけられる子ども
- 思いやりの心もち、助け合う子ども (やさしく)
 - あいさつできる子
 - ・自分から進んであいさつできる子ども
 - ・「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言える子ども
 - 人の気持ちがわかる子
 - ・思いやりの心で行動できる子ども
 - ・相手の立場で物事が考えられる子ども
 - ・仲間と協力し、助け合う子ども
- 心身を鍛え最後までやりぬく子ども (たくましく)
 - 最後までやりぬく子
 - ・心も体も健康な子ども
 - ・始めたことを粘り強くやりぬく子ども

学校経営の方針

- 調和のとれた教育課程を編成し、各担当の工夫により「児童の状況に合致した授業」として展開していく。
- 全職員の協働、家庭・地域・関係機関との連携により教育目標の達成をめざす。
- 義務教育9年間を見通した小中一貫教育の推進により教育の充実を図る。

めざす教職員像

- 服務規律を遵守し、社会人として地域社会で信頼される学校職員
- 専門性を常に磨き、水準以上の技能獲得をめざし努力を怠らない学校職員
- 組織の一員としての責任を担い、連携して業務を遂行できる学校職員
- 師弟同行、率先垂範できる学校職員 (子どもに生き方モデルを見せられる人)

取組重点 落合小学校の状況をふまえた教育活動 (特色ある教育)

- ①基礎基本の習得と面白く分かりやすい授業の創造。それらを基にして「思考力・判断力・表現力」の育成を図る (特にすべての学習の基盤となる読み・書き・計算力の確実な定着を図る)。
- ②いじめ・不登校のない学級・学校づくり。思いやりのある学級づくりや学校生活全般 (特に授業) にも生徒指導を取り入れた取り組みを目指す。
- ③インクルーシブ教育と特別支援教育の推進。それぞれの子どもの即した指導と、職員の校内支援体制の一層の工夫・充実を図る。また、ノーマライゼーションの考えを育むよう努める。
- ④学校生活の規律確立。「落合小生活のきまり」「落合小学習のきまり」を学校生活の基に据える。また、児童会が作った「落合小こびつとルール」に全員で積極的に取り組む。
- ⑤学習習慣の育成。家庭学習を包括した学習指導。特に、明快な「学習の仕方」を身につけさせ、学習に主体的に取り組む力を高める。・読書・辞書利用
- ⑥体育・食育の重視。生涯を通じて健康な生活を送るために必要な運動習慣、食習慣、衛生習慣を育成する。
- ⑦児童会活動の重視。より良い学校生活づくりのために考え・協力して諸問題を解決していく力を育成する。
- ⑧指定研究の推進。「学びの質を高める授業づくり推進事業」「地域ふれあい道徳事業」「小笠原流礼法を活かした心の教育推進事業」「いじめ・不登校未然防止推進事業」に積極的に取り組み、ICTの効果的な活用、場ふさわしい行動・あいさつ等ができるようにする。
- ⑨安全教育・安全管理の徹底。避難訓練などを通して、「自分の身は自分で守る」知恵と力を育てる。
- ⑩「開かれた学校づくり」の推進。情報を積極的に発信・受信し、家庭・地域・関係機関との連携を深める。

教科

基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用することで課題を解決するために必要な思考力・判断力・対話の能力・表現力を育成する。

特別の教科 道徳

仲間を認める思いやりの心や善悪の判断力の育成など、児童の実態に即した課題に、体験的・問題解決的に取り組み、考え議論する道徳を目指す。

外国語活動・外国語

「話す・聴く」に加え「読む・書く」ことも含め、担任の専門性を高め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の態度を育成する。

特別活動

集団の中の一人として共に活動できる自主的、実践的な態度を育て、自己の望ましい生き方について考える力を育成する。

総合的な学習の時間

課題解決的な学習や探究活動を通して、自ら考え、主体的に問題を解決する資質や能力を育成する。

取組重点を達成するための取組

- ① 学力向上のための授業改善 (ICT教育の充実)
 - 「チャレンジテスト」(年2回)の実施及び、漢字の読み書きの定着を図るための「漢字チャレンジ」
 - ② 生徒指導の機能 (自己存在感の確立・共感的な人間関係の育成・自己決定の場の設定) を活かした授業づくり
 - ③ 個に応じ特性に対応した指導 ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり
 - ④ 毎月の生活目標の取組
 - ⑤ 「家庭学習の手引き」の活用・「朝読書・読書の記録・家読推進」・辞書利用
 - ⑥ 「水泳カード」「縄とびカード」の活用 手洗い・うがい・歯磨きの推進 早寝・早起き・朝ごはんの呼びかけ
 - ⑦ 縦割り班活動・委員会活動の工夫
 - ⑧ 一人一台タブレットの積極的な活用 あいさつ運動の推進 地域教材・小笠原流礼法の活用
 - ⑨ 生活・交通・災害についての安全学習・安全指導の徹底 (自転車乗車時のヘルメット着用100%をめざす)
 - ⑩ 学級だより・連絡帳・学校だよりの活用 PTAとの連携
- 重点的に取り組む行事： 運動会 文化発表会 体力向上一実践

学級・学年経営

安定した学級生活や学習活動を行えるよう自ら考え取り組む児童を育成する。積極的に冷静な生徒指導により教師と児童、児童相互の好ましい人間関係を育成する。

目標 (各教科等)

家庭・地域・関係機関との深い連携、職員の意欲的な協働により目標の達成をめざす。

学習環境

ユニバーサルデザイン (できるだけ多くの人が利用可能なデザイン) の視点を取り入れ「どの子にとっても過ごしやすい学習環境づくり (言語環境を含む)」の構築をめざす。